

名取川水系河川整備学識者懇談会

【第7回名取川水系河川整備学識者懇談会の主な意見と対応】

平成24年10月19日

国土交通省 東北地方整備局

これまでの学識者懇談会で頂いた主な意見の反映について

| NO | 意見要旨 | 対応状況 |
|----|--|---|
| 1 | 干潟・砂州域は、生態系にとって重要であり、現在でもまだ変化が見られるため、引き続きモニタリングを継続してほしい。 | 意見を踏まえ、本文の「 5.1.3 河川環境の整備と保全に関する事項 (1)動植物の生息・生育・繁殖環境の保全 4)河川環境の モニタリング 」の項目に追記しました。 ⇒本文p106、p107 |
| 2 | 河口部と井土浦のモニタリングを継続して実施し、井土浦の砂浜や干潟の回復・保全に配慮が必要である。 | |
| 3 | 危機管理体制の整備・強化について、ソフト対策の学習に加え、行動してその体験から知識を高めることの重要性が非常に高まっていると思うので、避難訓練・防災訓練の連携について追加頂きたい。また、震災経験の伝承について、デジタルミュージアムなど画像情報を得られるソフト的な支援も有効である。 | 意見を踏まえ、本文「 5.2.3 危機管理体制の整備・強化 (9) 防災教育への支援、 災害教訓の伝承 」の項目に追記しました。 ⇒本文p133 |